

令和4年度

第2回野田市スポーツ推進審議会次第

開催日時 令和4年11月9日（水）
合同審議会終了後（16時頃～）
会 場 野田市役所 4階 委員会室

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 旧関宿クリーンセンター跡地の利用計画について
 - (2) トレーニングルームについて
 - (3) 総合公園水泳場について
 - (4) 第3次野田市スポーツ推進計画の素案について
- 4 その他
- 5 閉会

議事 1

旧関宿クリーンセンター跡地の整備について

1 旧関宿クリーンセンター跡地について

住 所：野田市古布内1940番地1

敷地面積：15,744㎡

状況説明：関宿クリーンセンターは、ごみ処理施設として稼働していたが、平成26年3月末日をもって稼働停止し、令和2年から3年度にかけて施設の解体工事を行い、現在は調整池を残して更地となっている。

《参考》 位 置 図 ……3ページ

解体後写真 ……4ページ

2 整備計画（案）について

☆ 資料5ページにある整備イメージ図とあわせてご覧ください。

(1) 整備計画（案）の概要

- ①調整池や建屋跡地の周りに「遊歩道」を設置し、それを少年野球場の園路と接続することで、ウォーキング、ランニング、散策などで楽しめるようにする。
- ②調整池はそのまま残し、子ども釣大会、障がい者釣大会等で活用するほか、「桜と池」の組み合わせを活用し、地域の方や利用者の「憩いの場」として整備する。
- ③建屋跡地は、「多目的広場」として芝部分と土部分を整備し、芝部分については、少年サッカーやフットサル、グラウンド・ゴルフ、さらにはイベント会場として、土部分については、主にソフトボールや少年野球の内野を想定し、芝部分と土部分をあわせての活用により試合等もできる環境とすることで、多くのスポーツ競技やイベント等に利用できるように整備する。

(2) 整備内容の個別箇所説明

- ① 調整池周りと多目的広場周りに遊歩道を設置

(図面 茶色の道)

敷地内に遊歩道として園路を舗装し、ウォーキングやランニングができるコースを設置し、少年野球場の遊歩道と接続する。また、調整池周りのほか、隣接した少年野球場にも桜が多くあることから、桜の開花時期には桜の見所として紹介をすることのほか、花見ができる場所として開放（夜

間はライトアップ) することなども検討したい。

② 調整池周りを数m程度埋める

(図面 ベージュ(色)の部分)

調整池と桜の木の間が狭く、遊歩道を設置する幅が少ないことから、池周りを数m程度埋める。埋める土については、遊歩道や多目的広場の土を削ったりすることから、その土で対応したい。

③ 調整池周りに転落防止柵を設置する

(図面 濃い茶色の点線)

調整池周りに景観にあわせた転落防止柵を設置する。また、座って休憩できるようにベンチなどの設置も検討したい。

④ 多目的広場として、【芝】ゾーンと【土】ゾーンを整備し、多種のスポーツに利用できる施設にする

(図面 建屋跡地で黄緑と茶色の部分)

建屋跡地には、芝の部分と土の部分を整備し、芝部分については、少年サッカーやフットサル、グラウンド・ゴルフ、さらにはイベント会場として、また土部分については、ソフトボールや少年野球の内野グラウンドとして活用し、芝部分とあわせてすることで試合等ができるように整備する。

利用の想定として、平日はグラウンド・ゴルフなどで、土曜日や日曜日はサッカーや野球などの子どものスポーツのほか、イベントとしての会場、また大人のソフトボールなど多くの競技で活用を見込んでいる。

※芝については、「まき芝」で整備する予定

※多目的広場の大きさから、大人の野球、サッカー不可

⑤ 多目的広場周りにフェンスの設置

(図面 濃い青の点線)

多目的広場では少年サッカーや少年野球、ソフトボールなどの球技での利用を想定していることから、周りにフェンスを設置する。

なお、土ゾーンについては、少年野球やソフトボールのバックネット部分になることから、高いフェンスを設置する。

⑥ その他で整備することを検討しているもの

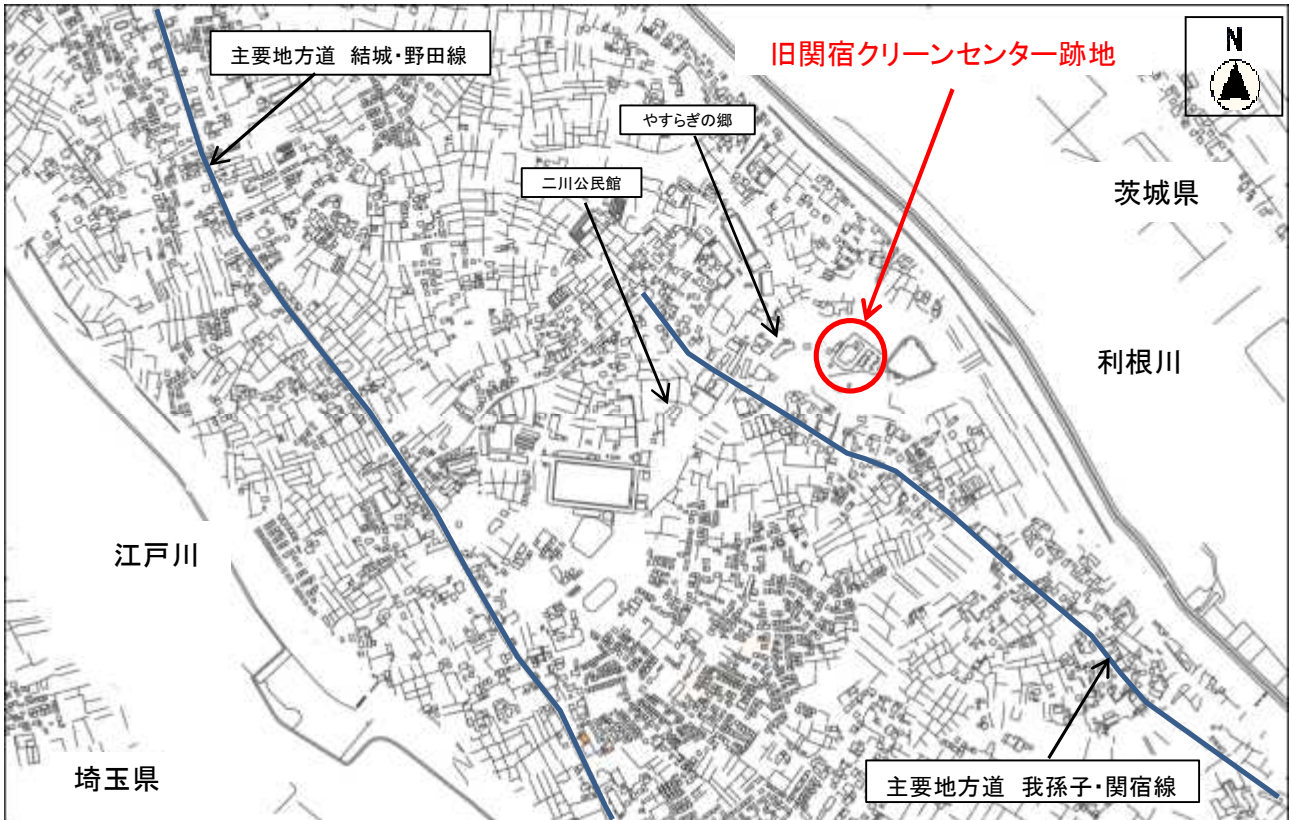
土ゾーンから西側の駐車場に出入口の階段を設置。

西側駐車場に仮設トイレ等を設置。

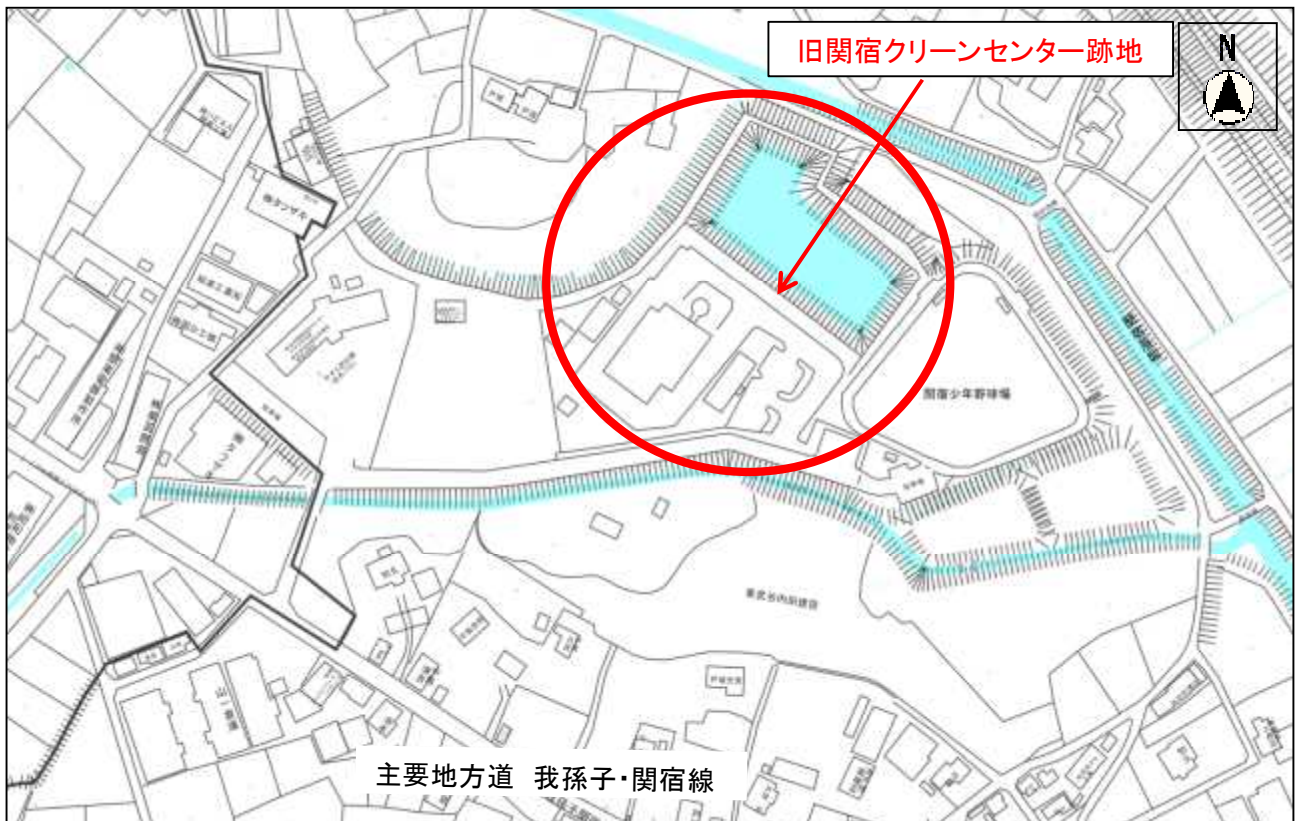
西側駐車場の舗装等(現在一部のみ舗装)の整備。

旧関宿クリーンセンター跡地 位置図

位置図



案内図



旧関宿クリーンセンター跡地 【解体後写真】

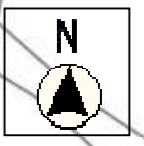


旧関宿クリーンセンター跡地整備イメージ図



遊歩道 イメージ

遊歩道・ランニングコース



池転落防止策 イメージ



フェンス設置箇所 イメージ

公益社団法人
野田市シルバー
人材センター
関宿連絡所

階段による駐車場へ出入口

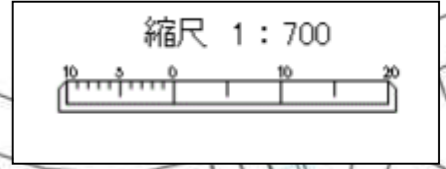
西側駐車場



バックネット イメージ



関宿少年野球場



議事2

トレーニングルームについて

1 総合公園と関宿総合公園のトレーニングルームの利用休止について

市内施設のトレーニングルーム（野田市総合公園と関宿総合公園の2箇所）については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用を休止しております。

総合公園のトレーニングルームについては換気システムがないことに加え、開閉できる窓が1か所のみであり、その窓の部分に屋根が無いため、降雨の場合は室内に雨が入ってきて換気が難しいことから、利用を休止しております。

総合公園の利用休止に伴い、関宿総合公園のトレーニングルーム利用者が集中しないようにあわせているほか、利用者に高齢の方も多くおり、感染した場合の重症化リスクが高いこと、またコロナ禍により打撃を受けている民間のスポーツクラブの経営状況を鑑み、市が積極的に再開する必要性を考慮するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況などを総合的に勘案して、現在まで利用休止を継続しているものになります。

2 各施設のトレーニングルームの現状や地域の状況

【野田市総合公園】

- (1) 昭和62年の開設当初とは異なり、近年の野田地域（関宿町と合併前の野田市の区域）では、民間で安い施設や24時間利用ができる施設、ダイエットを目的としたフィットネス施設など、同様の施設が多くできている。
- (2) ウェイトトレーニング機器について、老朽化しており、安全を保証できる状況ではない。定期的に点検をしているものの、機器自体が古いため、修理対応や修理備品の購入も困難であり、今後のメンテナンスが難しい。
- (3) ウェイトトレーニング機器を新しいものを購入すると、約1,100万円。リースの場合は、月約20万程度かかる。

※総合公園トレーニングルームの図面と写真は7・8ページ

【関宿総合公園】

- (1) 平成17年4月から関宿総合公園体育館で利用の開始をし、少し古くなっているが、機器や設備の問題はない。また、開閉できる窓も2箇所あることから換気面でも問題はない。

※関宿総合公園トレーニングルームの図面と写真は9・10ページ

3 野田市総合公園のトレーニングルームについて

現在野田地域ではフィットネス施設など様々な運動ができる民間施設が増え、トレーニングルームの必要性が開設当初と違うこと、またウエイトトレーニング機器の老朽化により安全に使用できる状態ではないことや機器の利用が特定の人に固定されていること、さらにダンスなどのスポーツの種類も多くなっている現状から、既存施設の有効活用という観点により用途の変更をする。

(1) 変更案について

エアコンがあることや受付後に階の移動がないことから車椅子でも利用しやすいこと、また近年増えているエアロビクス、ヨガ、ダンスなどの利用者に対応できることから、以下のとおり変更する。

障がい者スポーツ（ボッチャなど）や、エアロビクス、ヨガ、ダンス、ニュースポーツなど、多くのスポーツで利用できる「フリールーム」に変更。

なお、このフリールームは、ボッチャなどの障がい者スポーツの用具を用意し、障がい者への利用促進を図りたい。また、ニュースポーツの用具も用意し、新たなスポーツの普及を図ることによりスポーツの参加者の増加を図りたい。

(2) 変更に関して整備すること

- 換気の問題があることから、換気扇や庇等を整備する。
- 障がい者の利用でも安心して利用してもらうため、緊急呼び出しボタンを設置する。
- 部屋の貸し方や利用料金を決定する。

※現在のトレーニングルームをそのまま一部屋として貸出をする予定。料金については、小体育室や柔道場、剣道場と同じ1時間あたり410円（市内一般）で検討。

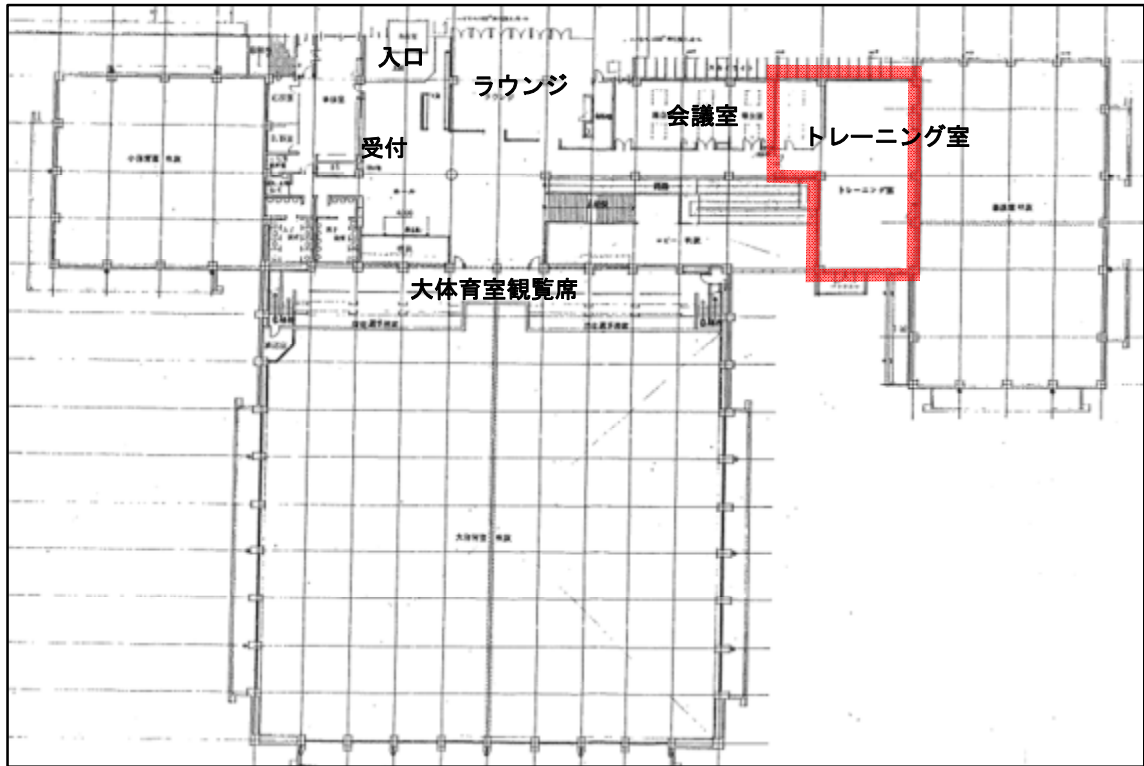
4 関宿総合公園のトレーニングルーム

関宿地域に民間施設がなく、トレーニング機器の老朽化などの問題がまだないことから、利用を再開する。

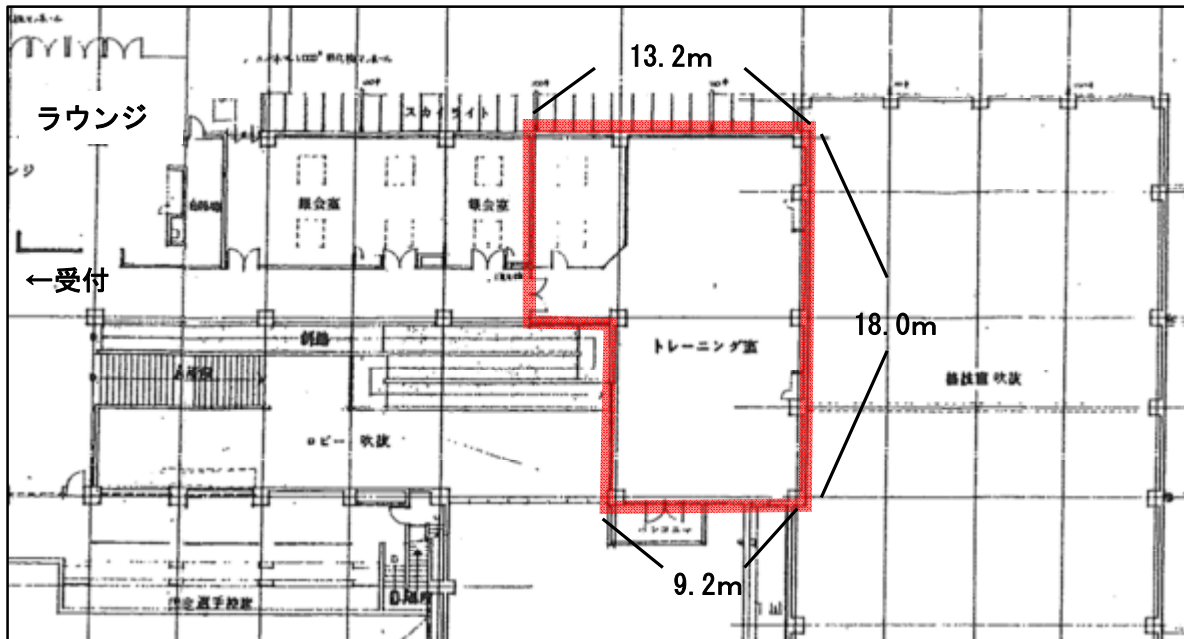
※樺のホールにあるリフレッシュルームについても、トレーニングルームとあわせて利用を休止しているが、健康を維持するための軽い運動を目的とした器具がほとんどであり、利用者層が違うことや、運動器具も問題なく使用できることから、利用を再開することで進める。

総合公園トレーニングルーム図面

【 体育館内位置図（2階） 】



【 詳細図 】

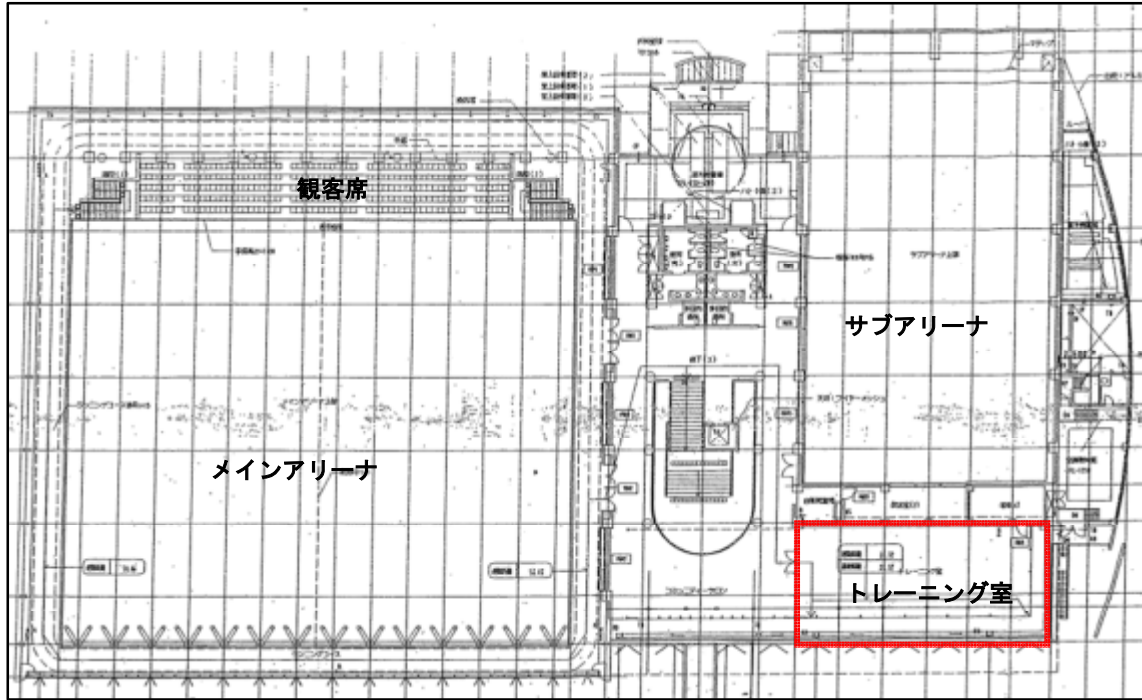


総合公園トレーニングルーム 【写真】

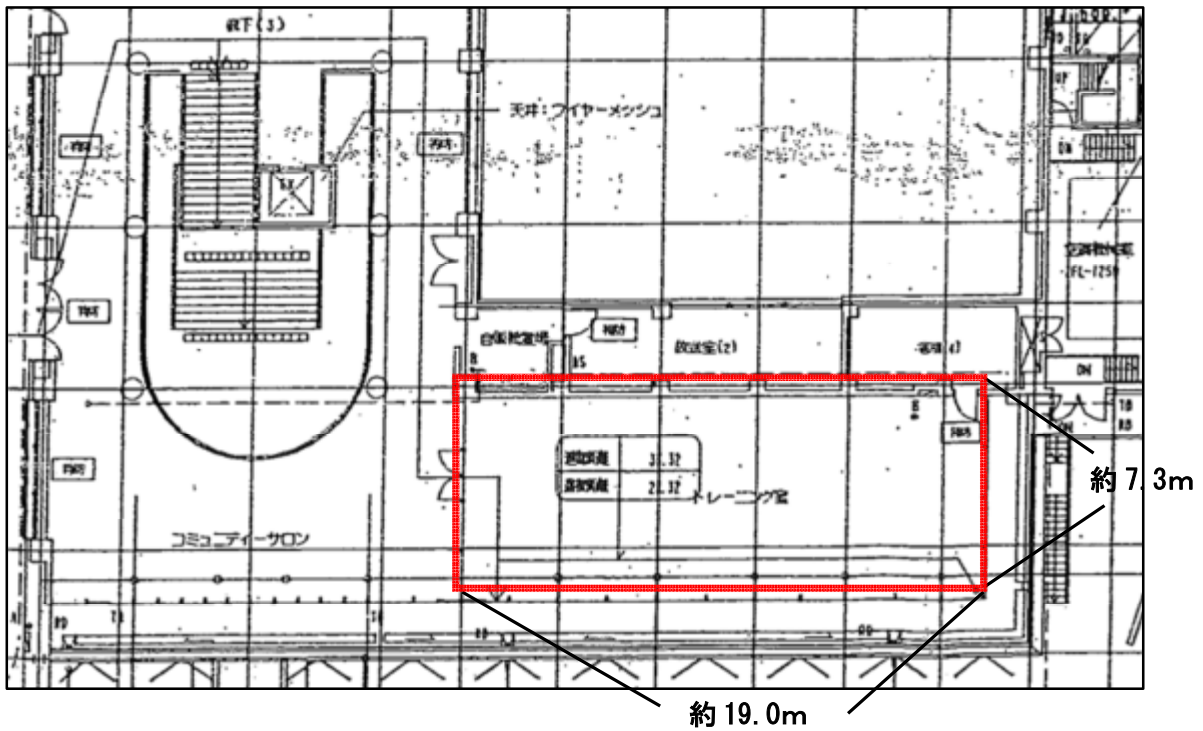


関宿総合公園トレーニングルーム図面

【 体育館内位置図（2階） 】



【 詳細図 】



関宿総合公園トレーニングルーム 【 写真 】



総合公園水泳場について

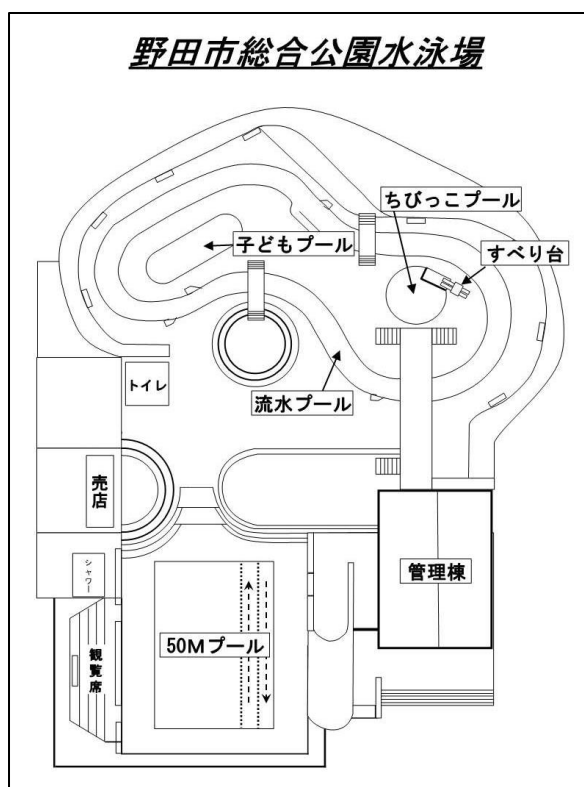
総合公園水泳場は、昭和55年の開場以来、市民が気軽に水に親しむことのできるふれあいの場として、幼児から一般の方まで幅広い年齢層の方に利用されてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度と3年度は開場を見合わせ、4年度の開場に向けての施設点検を実施しましたが、施設や設備の老朽化に加え、2年間閉場していた影響もあり、利用者の安全を確保するには大規模な改修が必要な状況にあります。

屋外水泳場の標準的な耐用年数は約30年とされている中、総合公園水泳場は、開場から42年が経過しており、今後のあり方について抜本的な検討を行う時期であると考え、今後の整備方針（案）を作成しました。

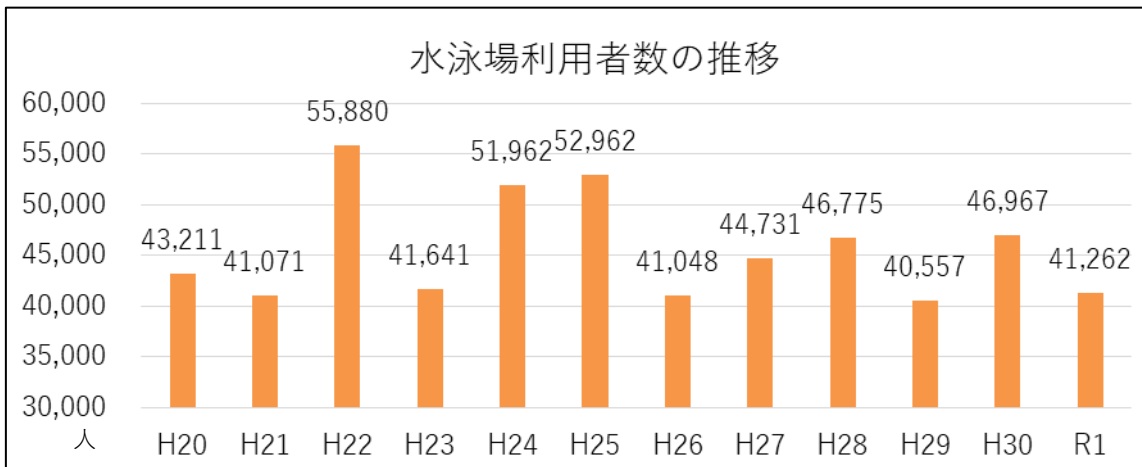
1 総合公園水泳場の概要

野田市総合公園水泳場	
住所	野田市清水958番地
開設期間	7月第1土～9月第1日 9時～18時
施設概要	50mプール、流水プール、ちびっこプール、子どもプール
使用料	一般710円、中学生以下280円 一般280円、中学生以下60円（15時以降）
開場年月	昭和55年8月
年間利用者数	約44,000人／年（過去5年間の平均）



2 総合公園水泳場の利用状況

(1) 平成20年度以降の水泳場利用者数



利用者数については、年によりばらつきが見られ、特に台風などの天候や気温による影響などがそのまま利用者数の減少につながっていると考えられる。

また、傾向としては、平成26年度以降、6年間にわたり5万人を超えた年がないことから、減少傾向にあると考えられる。

さらに、近年の猛暑の影響や、コロナ禍での密を避ける意識も残っていることから、利用を控える人が増加することも予想される。

(2) 平成27年度～令和元年度の5年間の水泳場収支

年度	開場日数	利用者数 (人)	使用料収入 (円)	管理運営経費 (円)	収支差額 (円)
H27	65	44,731	16,158,310	41,595,080	▲25,436,774
H28	65	46,775	16,683,930	38,798,523	▲22,114,593
H29	65	40,557	14,681,930	39,346,887	▲24,664,957
H30	58	46,967	17,722,960	35,624,219	▲17,901,259
R1	58	41,262	14,979,710	34,178,295	▲19,198,585
計	311	220,292	80,226,840	189,543,004	▲109,316,168

さらに今後の収支については、昨今の燃料費等の高騰の影響等により、収支差額は拡大する可能性がある。

3 総合公園水泳場の管理運営経費の内訳

令和元年度（58日間開場）における総合公園水泳場に係る管理運営経費は次のとおり

項目	内容	金額（円）
人件費	監視、受付、清掃	24,006,706 円
委託料	保守点検、樹木剪定、廃棄物処理等	1,475,152 円
手数料	水質検査	55,296 円
借料・損料	BGM、重機リース	81,432 円
印刷製本費	水泳場使用券	88,300 円
消耗品費	プールサイド用人工芝、医薬品等	425,908 円
修繕料	売店・プールサイド修繕、橋塗装等	1,277,314 円
光熱水費	水道料金	2,945,018 円
	電気料金	2,080,157 円
薬品費	次亜塩素酸ナトリウム等	1,743,012 円
合計		34,178,295 円

4 総合公園水泳場の現状



管理棟（正面入口）



管理棟



更衣室



更衣室ロッカー



更衣室トイレ



入場口シャワー



渡り通路



渡り通路階段



階段手すり



階段裏側



流水プール内側中洲



中洲地面



管理棟横ベンチ



50m プール



50m プールサイド



50m プールへの階段



プールサイド（奥に売店、トイレ）



プールサイド（管理棟前）



流水プール



子どもプール



ちびっこプール



滑り台



滑り台手すり



ろ過装置

5 大規模改修にかかる概算費用

大規模改修を行う場合の概算費用は以下のとおり。

No	施設の種類	内容	整備費用（概算）
1	管理棟	耐震診断、補強設計	1,160 万円
2	管理棟	大規模改修	1 億 2,600 万円
3	フェンス、渡り通路、階段手摺、滑り台	塗装	2,890 万円
4	プールサイド地面、プール槽	塩ビシート・塗膜防水	3 億 4,400 万円
5	ろ過設備	5 台更新	1 億 835 万円
6	流水ポンプ	4 基交換	4,400 万円
7	屋外トイレ	改修（全洋式化）	1,840 万円
8	売店建物・飲食コーナー	改修	1,000 万円
計			6 億 9,125 万円

6 近隣5市のプールの設置状況について（令和4年4月1日現在）

公営プール種類	柏市	松戸市	流山市	我孫子市	鎌ヶ谷市
屋外プール	5 施設	3 施設	3 施設	なし	なし
室内温水プール	なし	1 施設	なし	なし	なし※1
学校開放 ※2	あり	なし	なし	あり	あり

※1 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合による「さわやかプラザ軽井沢」がある

※2 学校開放は令和元年度の実績

7 近隣市（県外含む）で最近閉鎖された公営屋外プール

近年、公営屋外プールの閉鎖が相次いでいる状況にあり、近隣市における状況は以下の表のとおり。野田市総合公園と同時期の昭和50年代に開設した水泳場が相次いで閉鎖している状況にある。

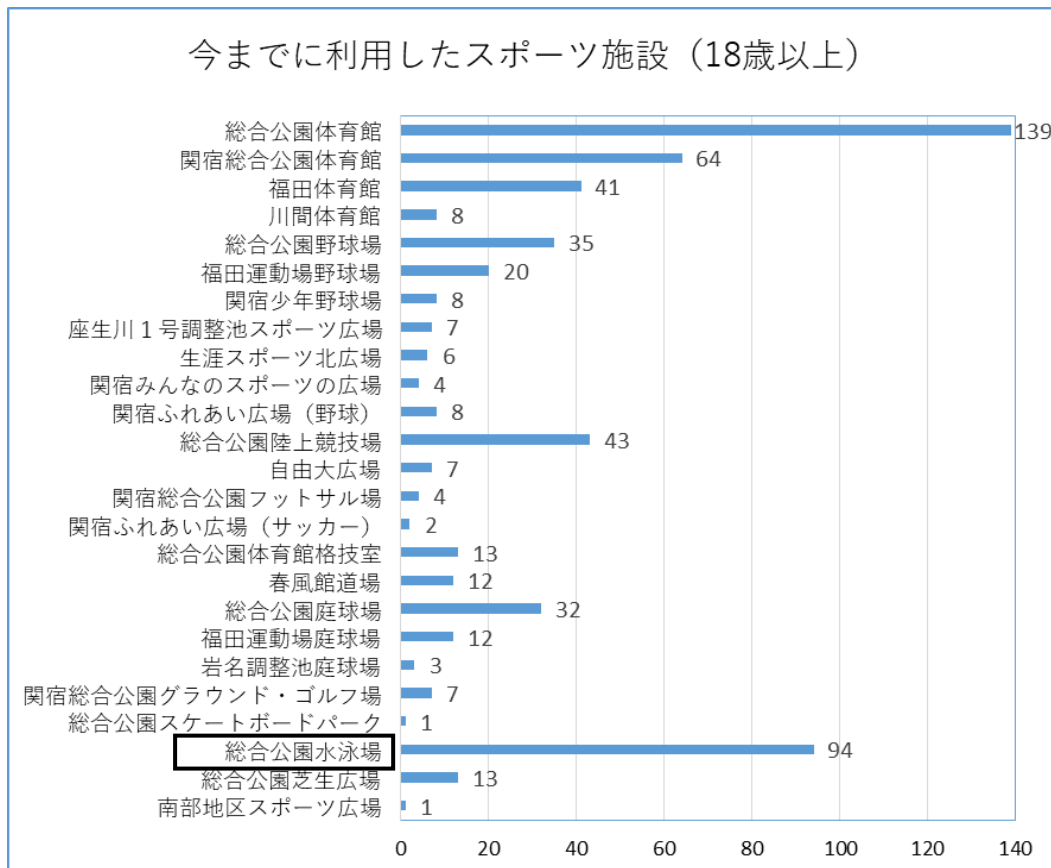
また、特に埼玉県では、令和2年度以降に11ものプールが閉鎖された。

名称	開設年	閉鎖年	設備
東部市民プール (流山市)	S58	R4	25mプール、幼児用プール
常総運動公園屋外プール (茨城県守谷市)	S57	R3	流水プール、スライダー、子供用プール、幼児用プール
屋外市民プール (埼玉県吉川市)	S56	R3	流水プール、幼児用プール
市民親子プール (埼玉県加須市)	S53	R3	25mプール、親子プール
さいたま水上公園プール (埼玉県上尾市)	S46	R3	波のプール、子供プール、小型変形プール

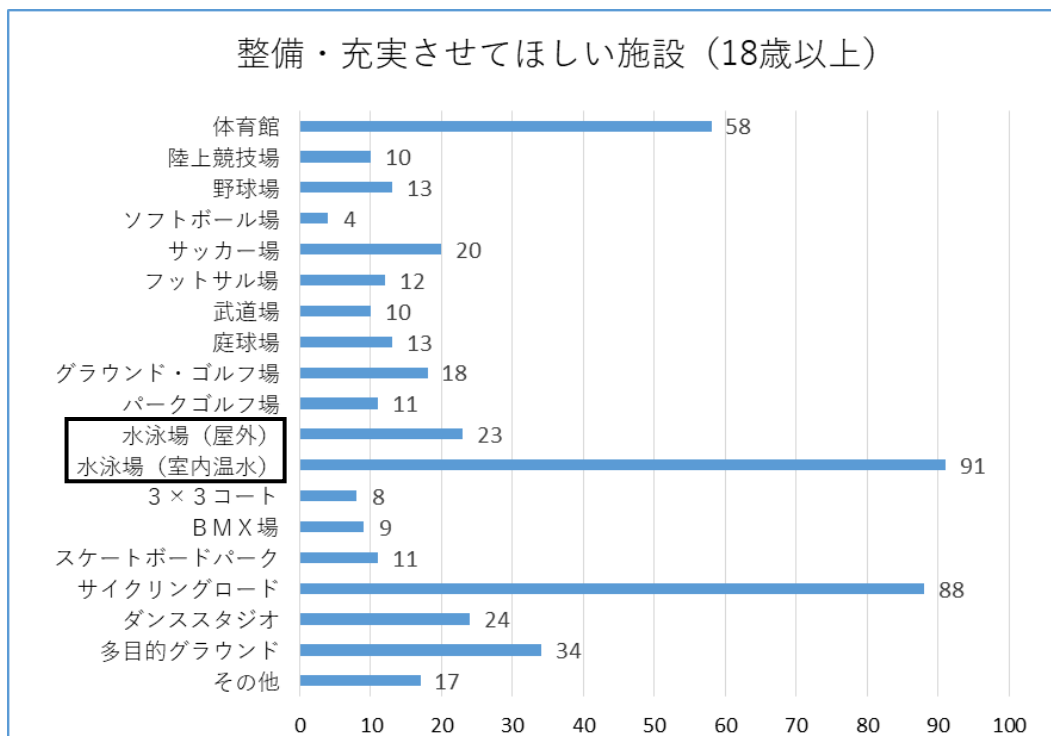
8 市民アンケート調査の結果

令和4年8月に18歳以上1,000名、12歳～17歳1,000名の計2,000名を対象に「野田市スポーツに関するアンケート調査」を実施した。

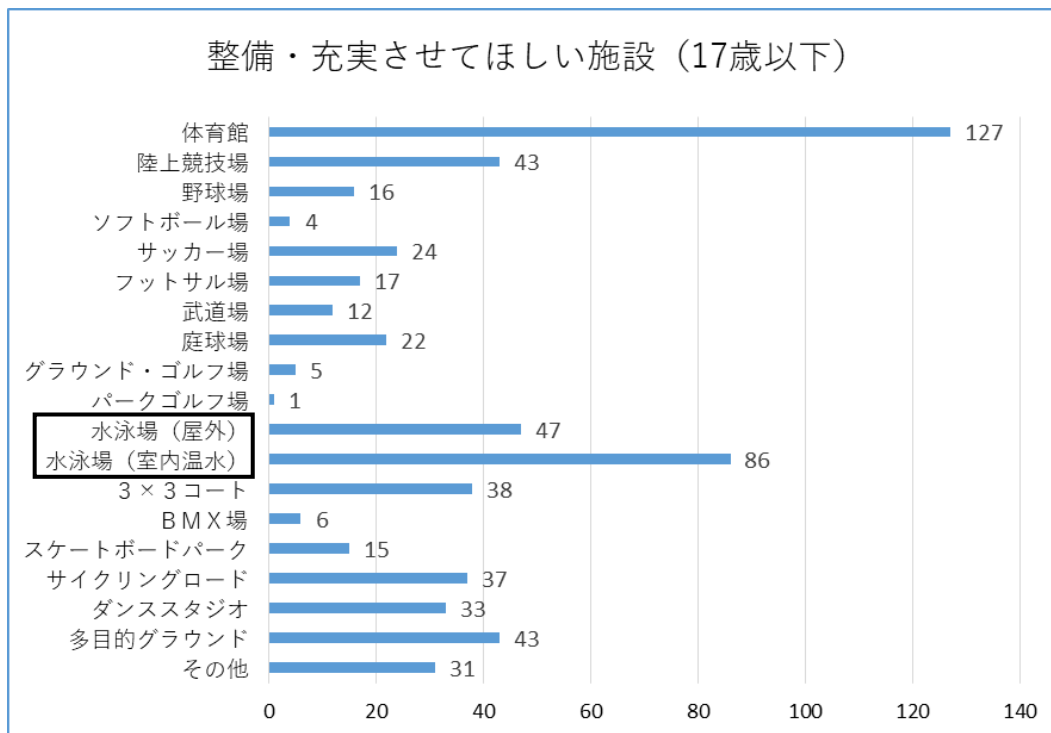
まず、18歳以上を対象とした「今までに市営スポーツ施設を利用したことがあるか。(複数選択可)」の設問に対し、総合公園水泳場は94件で、最も多かった総合公園体育館に続いて2番目に多い結果であった。



次に、「今後、野田市で新しく整備・充実させてほしいスポーツ施設はあるか。（3つまで○）」との設問に対し、18歳以上では、「水泳場（室内温水）」が91件で最も多かった。



また、12歳～17歳では、最も多かったのは「体育館」で、2番目に多かったのが「水泳場（室内温水）」で86件という結果であった。



9 総合公園水泳場の今後のあり方について

総合公園水泳場については、昭和55年に開設して以来42年が経過していることから、更衣室やシャワールーム等がある管理棟のほか、プールサイドの地面や鉄橋など、施設全体を改修する必要がある。

水泳場は利用期間が夏季の2か月程度であることや、大規模な改修をするには全体で7億円近く経費がかかり、費用対効果という観点から施設の再開は非常に困難であり、また、他の自治体を見ても同時期に建設された屋外プールは軒並み廃止の方向にある。

しかし一方で、市民アンケート調査の結果からも、市民のプールに対する要望は多く、特に室内温水プールの要望が多かったことから、総合公園の水泳場は廃止をするが、新たに1年を通して利用できる室内温水プールの整備を検討していく。

■今後の整備方針（案）

- 新たに一年中利用できる室内温水プールを整備し、市民の健康増進と憩いの場とする。
- 整備にあたっては、まずは、学校プールの老朽化も問題となっていることから、将来的に学校の水泳授業の受け入れも視野に入れ、施設の規模やコスト、PFIを始めとする整備手法の検討も含めた調査業務を委託して実施する。
- 室内温水プールの建設を優先して行い、残りの敷地は、総合公園全体として付加価値の高い施設整備を検討していく。